

★日仏現代美術展で舞踊披露

日仏の現代美術作品などを集めた「第二十一回日本・フランス現代美術世界展」の内覧会が六日、東京都港区の国立新美術館であり、舞踊家の鈴木泰介さんと贅田麗帆（にえだ・まほ）さんがダンスパ

フォーマンスを披露した＝写真。

鈴木さんと贅田さんは、二〇一五年の全国舞踊コンクール（東京新聞主催）の創作舞踊部門で一位に輝いた実力者。二人は土から生まれた虫



が生涯を終えて、土に戻るまでをダンスで表現した。やわらかな光と優しい音楽に包まれながら、神秘的な踊りで会場を魅了した。

同展の内覧会はこれまで、作家らを招いたイベントを会場で実施していたが、今回は新型コロナウイルスの影響で来日できない作家らも多く、三密を回避するためライブで映像を配信した。

同展は、パリの画壇などで活躍する現役の作家らの作品を集めた作品展で、八〜十六日まで。入場無料。（西川正志）